

食料安全保障に関する関連業界との意見交換

令和3年5月

農林水産省

関連業界との意見交換

- 食料安全保障政策に必要な視点について意見を伺うため、食料安全保障上の懸念と新型コロナウィルスによる影響をテーマに、関連業界との意見交換を実施。
(令和3年2月～4月に生産資材、品目別、生産者、消費者の各業界の16団体・企業と実施)

関連業界との意見交換の結果(まとめ)

1. コロナ禍が需給に与えた影響について

- ・飼料、種苗、農薬、肥料といった生産資材の国内供給については大きな影響は見られなかった。
- ・一部食品において、外食・業務用から家庭・小売り用への急激な需要変化に、製造と流通が一時的に対応しきれないことがあった。

2. コロナ禍におけるサプライチェーンの維持・確保について

- ・輸出国における現地生産の遅延や、コンテナの不足・偏在等による輸送の停滞・遅延等に対し、通常以上のリードタイムの確保、空輸への切り替え、調達先の変更等により対応した。
- ・製造現場、運送現場における衛生管理・感染防止対策を徹底した。

3. 不測時への備え・平時からの対応について

- ・東日本大震災を契機に事業継続計画を策定していた。
- ・不測時における事業継続の観点から、原材料等の調達先の多元化、生産拠点の分散化を実施した。
- ・貯蔵・備蓄については、品目や製品毎の貯蔵耐性、貯蔵コスト等の特性に応じた対応をとっている。

4. その他

- ・不測時における情報発信は重要である。